

■日本緩和医療学会 第5回関西支部学術大会 一般演題リスト 2023年9月2日(土) フェニーチェ堺

会場	プログラム	座長	座長所属機関名	発表時間	No	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	抄録タイトル
第3会場 文化交流室 (3階)	一般演題①	竹久 志穂	近畿大学病院 緩和ケアセンター	9:30-9:40	O-1	奥田 ゆり子	大阪労災病院	Xがん診療連携拠点病院における医療従事者のがん相談支援センターの周知度調査
				9:40-9:50	O-2	高見 友也	岸和田徳洲会病院 緩和ケア科	高プロカルシトニン血症を呈した腫瘍熱疑いの1例
				9:50-10:00	O-3	片山 優子	ホームケアクリニックこうべ	高流量鼻カニューレ酸素療法 (HFNC) を在宅で新規導入したII型呼吸不全の一例
				10:00-10:10	O-4	住本 秀敏	滋賀医科大学医学部付属病院 腫瘍内科	免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) 投与による免疫関連有害事象 (irAE) 発生リスクとしての自己免疫疾患 (AI) 合併の意義
				10:10-10:20	O-5	長谷川 拓也	医療法人ガラシア会ガラシア病院	がん終末期に低血糖による意識障害を発生した脳腫瘍の1例
				10:20-10:30	O-6	西村 岳	福知山市市民病院 放射線科	中脳神経原発性リンパ腫疑いに緩和照射で神経症状が改善した一例
	一般演題②	相木 佐代	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 緩和ケア内科	10:40-10:50	O-7	向 友代	和歌山県立医科大学附属病院 看護部	入院患者に対する自宅仮想現実映像を用いた緩和ケアの有用性を検討する前向き観察研究
				10:50-11:00	O-8	石川 奈名	ベルランド総合病院 緩和ケア病棟	中流離パティオース、市民、研究者の協働によるアスベスト被害者遺族に対するグリーフケアの活動報告
				11:00-11:10	O-9	松本 静香	医療法人春秋会 城山病院	急性期病院におけるがん患者の家族を対象にした「家族外来」の開設
				11:10-11:20	O-10	小杉 孝子	国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 心療内科	面接の枠の設定が有益であった終末期慢性呼吸不全患者の一例
				11:20-11:30	O-11	沈沢 欣恵	八尾市立病院 緩和ケア内科	実存の苦痛に対するケアを緊急緩和ケア病床で行った一例
				11:30-11:40	O-12	森田 亜紀	グリーン&ブルーメント研究所	米国ホスピスにおけるグリーフケアプログラム
	一般演題③	矢部 充英	大阪公立大学大学院 医学研究科腫瘍科学講座	11:50-12:00	O-13	高橋 恵子	JCHO滋賀病院 消化器科	ミルタザピンの投与によって、ケミカルコーピングを予防、改善し得た2症例
				12:00-12:10	O-14	西澤 昭彦	加古川中央市民病院	IPOSを用いた入院患者の苦痛評価
				12:10-12:20	O-15	庄野 孝仁	京都市立病院 緩和ケア科	高度肥満末期キルズ胃癌に対する症状緩和・ケアに難渋した1例
				13:30-13:40	O-16	岡山 幸子	宝塚市立病院 緩和ケア病棟	緩和ケア病棟での疼痛コントロールの実際～メサドンへオピオイドスイッチング後に施設移行が可能であった1例～
				13:40-13:50	O-17	國廣 英一	株式会社社薬堂 志都美薬局	特殊型がんの疼痛で在宅でカテコラミン持続静注が施行された在宅末期不全患者の症例報告と調剤報酬上の課題
				13:50-14:00	O-18	中長 容子	大阪母子医療センター 小児外来	子ども病院における緩和ケアチーム活動の実際
	一般演題④	岩城 隆二	市立東大阪医療センター 緩和ケア内科	14:00-14:10	O-19	井上 稔也	いのうさい在宅診療所	在宅で悪性水腫患者に対してドレナージを施行した7症例の検討
				14:10-14:20	O-20	岡村 知直	みなとクリニック	オピオイド抵抗性の悪性腫瘍筋症候群に対し、他院と連携し在宅で持続硬膜外ブロックを導入し良好な鎮痛を得た1例
				14:20-14:30	O-21	上杉 慧太	健生会 大福診療所	癌治療開始早期からの在宅医の介入で、自分らしい生き方をサポートできた1例
				14:30-14:40	O-22	上島 成也	大阪南医療センター 緩和ケア内科	緩和ケア病棟開設初期報告
				14:50-14:50	O-23	増尾 由紀	市立奈良病院 がん相談支援センター	外来スクリーニングシートを活用したACPへの取り組み
				14:50-15:00	O-24	江藤 美和子	ベルランド総合病院 外来	緩和ケア外来での意思決定プロセスと看護支援のあり方の検討
一般演題⑤	川島 正裕	市立岸和田市民病院 緩和ケアセンター、緩和ケア内科	15:00-15:10	O-25	吉田 美佳子	市立柏原病院 緩和ケア病棟	意思疎通困難の脳腫瘍併発卵巣がん患者に対するACP支援の事例研究	
			15:10-15:20	O-26	田村 沙織	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻	大阪府のがん診療連携拠点病院の一般病棟に勤務する看護師の緩和ケアに対する困難：自由記載の質的分析	
			15:20-15:30	O-27	山岡 綾子	独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター	大阪南医療センター緩和ケア病棟立ち上げの取り組み～みんなで考える「うちの緩和ケア病棟はこんな場所にしたい!」～	
			16:40-16:50	O-28	古賀 稔幸	医療法人春秋会 城山病院 がん治療センター緩和ケア対策室	化学療法中の進行性胃癌の症例との緩和ケアチームとしての関わり	
			16:50-17:00	O-29	三原 加恵	近畿中央呼吸器センター 緩和ケア病棟	呼吸器専門病院の緩和ケア病棟開設後4年間の活動報告	
			17:00-17:10	O-30	新田 敏勝	春秋会城山病院 がん治療センター緩和ケア対策室	アドバンスケアプランニングの実践に難渋し続けた再発脳腫瘍を有する、ろう者の1例	
一般演題⑥	栗山 俊之	和歌山県立医科大学附属病院	17:10-17:20	O-31	松田 良信	市立岸屋病院 緩和ケア内科	病院機能評価新Versionでの「2.2.21年々ミナリステージへの対応を適切に行っている」に関する検討	
			17:20-17:30	O-32	山本 栄司	京都市立病院 緩和ケア科	麻薬注射指示標準化を目指した医師処方行動変容の促進に向けて	
			17:30-17:40	O-33	太田 俊輔	太田医院	地域のACPを成長させるためのかかりつけ医の取り組み	
			9:30-9:40	F-01	ウォン 政代	大阪ろうさい病院 緩和ケアセンター	急性期病院における緩和ケア外来受診状況に関する検討	
			9:40-9:50	F-02	藤村 敦子	大阪ろうさい病院 緩和ケアセンター	A病院の非がん患者への緩和ケアチームの介入の実際と今後の課題	
			9:50-10:00	F-03	岩本 文子	ベルランド総合病院 緩和ケア病棟	医療従事者が困難と思えた在宅看取りを可能とした要因の一考察～地域との合同デスカンファレンスからの学び～	
第4会場 小スタジオC (2階)	フレッシュマン セッション①	内藤 潤	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター	10:00-10:10	F-04	藤村 友加	社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 看護部	子育て期にあるがん終末期患者への在宅医療支援～母親としての想いを最期まで支える～
				10:10-10:20	F-05	荒木 稚香	独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター	終末期の呼吸器疾患患者のせん妄ケアに関する困難感
				10:20-10:30	F-06	中村 直美	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 看護部/支持・緩和療法チーム	夫への怒りを表出する患者とその家族を治療期から看取り期までコミュニケーションの橋渡しを行った一症例
				10:40-10:50	F-07	石倉 知佳	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター 緩和ケアセンター	緩和ケアチームと外来看護師の協働に向けた取り組み～外来DE看護カンファレンスの現状と課題～
				10:50-11:00	F-08	吉金 鮎美	独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部	緩和ケアチーム外来患者における抗HIV薬と緩和治療薬の相互作用薬の作成と運用
				11:00-11:10	F-09	藤本 洋子	医療法人協和会 千里中央病院	コロナ禍の面会制限とあいまいな喪失～緩和ケア病棟での家族看護に関するアンケート調査の二次解析～
	フレッシュマン セッション②	奥田 ゆり子	大阪労災病院 緩和ケアセンター	11:10-11:20	F-10	橋 麻理子	国立研究開発法人国立循環器病研究センター 看護部	母への帰国を希望する終末期患者へのACPの一例～共同意思決定プロセスにおける対話の意味を考える～
				11:20-11:30	F-11	白藤 沙織	医療法人社団 清水メディカルクリニック	クリニック看護師がグループホーム介護職員に行った看取りのための緩和ケア勉強会
				11:30-11:40	F-12	吉藤 正泰	市立岸和田市民病院 緩和ケア内科	緩和的寡分割放射線照射にて止血及び局所制御を得られた、進行上顎癌肉腫の1例
				11:50-12:00	F-13	平岩 慎也	明治国際医療大学大学院 鍼灸学専攻	バクテリアキセル誘発性ケモブレインモデル動物の作成
				12:00-12:10	F-14	山下 直美	近畿中央呼吸器センター 緩和ケア病棟	アルツハイマー型認知症を有するがん患者の疼痛評価にPAINADが有用であった1例
				12:10-12:20	F-15	宮前 了輔	医療法人 宮前医院 在宅医療部	Best Supportive Care中の腎臓患者の嚥下障害に胃造設を適応した一症例
フレッシュマン セッション③	米本 千春	堺市立総合医療センター 患者支援センター	13:30-13:40	F-16	多方 実彩	国立病院機構近畿中央呼吸器センター 支持・緩和療法チーム	当院におけるシクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用状況について	
			13:40-13:50	F-17	貴志 花穂	訪問看護ステーションおおいそら	訪問看護・訪問リハビリテーション介入により在宅でハイフローセラピーを導入してきた一例	
			13:50-14:00	F-18	藤田 早紀	国立病院機構近畿中央呼吸器センター	複合的な苦痛を訴える患者へ多職種介入を行ったがQOLの向上に至らなかった症例～トータルペインの視点での検討～	
			14:00-14:10	F-19	橋本 友里	社会医療法人同仁会 耳原総合病院 消化器呼吸器外科	急性期病棟で取り組むはじめてのACP～スタッフに対する教育指導～	
			14:10-14:20	F-20	原林 六華	大阪公立大学医学部附属病院 薬剤部	高度の疼痛管理およびBSCへの移行に難渋したAYA世代原発不明癌の1例	
			15:00-15:10	P-1	青木 美和	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻	標準治療を終える時期にある患者へのがん遺伝子パネル検査の結果開示に伴う倫理的課題：看護師への質的研究	
第2会場 多目的室 (2階)	優秀演題①	清水 政克	清水メディカルクリニック	15:10-15:20	P-2	川端 良平	堺市立総合医療センター 胃食道外科	胃癌悪液質症例に対するアナモレリンの使用経験
				15:20-15:30	P-3	中辻 正人	大和高田市立病院 内科	医療用麻薬持続皮下注射使用下での退院に際し入院中よりクックエイミーPCAを用いて退院支援を行った一例
				16:40-16:50	P-4	奥田 有香	和歌山県立医科大学附属病院 麻酔科	終末期がん患者の退院後に関する情報交換会「～あの患者さん どうされてますか?～」
	優秀演題②	醍醐 弥太郎	滋賀医科大学 腫瘍内科・腫瘍センター	16:50-17:00	P-5	木原 歩美	京都民医連あすかい病院 緩和ケア科	グリーフケアにおけるCOVID-19の影響を考える-京都府緩和ケア病棟実態調査と当院の取り組み-
				17:00-17:10	P-6	日根野谷 啓樹	ベルランド総合病院 作業療法室	難治性下肢リンパ浮腫を伴う終末期がん患者の「自律支援」を目的とした作業療法の実践
				17:10-17:20	P-7	大西 幸代	近畿中央呼吸器センター リハビリテーション科	緩和ケア病棟におけるリハビリ介入について、病棟担当導入の試み
	優秀演題③	藤阪 保仁	大阪医科薬科大学 医学部 内科学講座腫瘍内科学	17:30-17:40	P-8	前田 一石	医療法人協和会 千里中央病院 緩和ケア内科	緩和ケア病棟に紹介される患者の抱える複雑性complexityの検討；年齢区分ごとの比較
				17:40-17:50	P-9	犬飼 一智	医療法人協和会 本部クオリティマネジメント室	公認心理師による緩和ケア病棟スタッフサポートの取り組み ～法人内4施設の訪問巡回支援の報告～
				17:50-18:00	P-10	山代 亜紀子	洛和会音羽病院 緩和ケア内科	神経ブロックのアクセスを改善するために～患者紹介支援のためのパンフレットの作成～